

審査結果報告書

2020年 1月 27日

主査 氏名

柳谷和寿



副査 氏名

高橋 香世子



副査 氏名

川崎 拓心



副査 氏名

飯田 嘉彦



1. 申請者氏名 戸塚 悟

2. 論文テーマ : Improvement of Adherence with Occlu-Pad® Therapy for Pediatric Patients with Amblyopia
(弱視治療におけるオクルパッドを用いたアドヒアランスの改善効果)

3. 論文審査結果 :

小児の弱視治療は、健眼遮閉がゴールドスタンダードであり、さまざまなエビデンスが確立されてきた。その一方、弱視治療の対象は小児であるため、健眼遮閉を拒否する症例が知られている。本研究申請者は、弱視治療が可能な機器として、デジタルデバイス（オクルパッド）に着目し、その治療成績やアドヒアランスについて、従来の健眼遮蔽と後方視的に比較し、臨床的有用性を検証した。

その結果、従来の健眼遮閉と比較して、オクルパッドを用いた方法は、治療成績が良好であり、アドヒアランスも良好な結果が得られた。さらに、従来法が困難な症例における代替治療法としての可能性を指摘した。以上の結果より、オクルパッドを用いた弱視治療は、健眼遮蔽と同等もしくはそれ以上の臨床的有用性があることが示唆された。

公開審査において、主査および副査を中心に幅広い質疑応答があった。主に研究デザイン、統計解析、潜伏眼振に対する治療への応用、小児に対する動機付けの方法、本研究の限界など質問が出されたが、いずれも申請者は適切に回答していた。以上により、論文及び学識とも博士学位授与に相応しいとの判断に至った。